

「令和7年度白山市子ども会議」開催結果まとめ

1. 開催概要

- ・日 時：令和7年8月7日（木）、12日（火）
- ・場 所：7日 白山市民交流センター研修室A・B
12日 白山市役所402会議室、白山市議場
- ・参加者数：中学2年生18名、高校2年生6名
- ・講師等：NPO法人白山っ子 理事長 中野 浩一 氏
金沢大学、筑波大学、大阪大学、金沢工業大学学生
- ・テーマ：「白山市の10年後を考える」を全体のテーマとし、事前に各学校で話し合った内容をもとに市内中学校・高校の生徒が4つのグループに分かれて小テーマを設け、考えを深めた。
- ・内 容：1日目：子どもの権利について学び、各学校で話し合った議題について意見を出し合い、現在の市の取組を調査した。
2日目（午前）：1日目に調査した現状をもとに、これからの白山市につなげるための提案を考え、意見書原稿を作成した。
2日目（午後）：グループごとに作成した意見書の提案理由を説明し、全ての案が可決された。議長から市長へ意見書を提出した。

・当日の様子

▼子どもの権利の学習



▼意見の共有



▼市職員へのインタビュー



▼意見書原稿の作成



▼意見書の提案理由を説明



▼市長に意見書を提出



2. グループごとの意見書の提案内容

A：過ごしやすい街づくりグループ（中学生）	B：まち発展プロジェクトグループ（中学生）	C：地球と私たちの生活を保護するグループ（中学生）	D：居場所がほしいグループ（高校生）
<p><u>○中高生が満足できる居場所について</u></p> <p>1. コミュニティセンターを利用しやすくするために、予約するのではなく登録制にし、自分たちでルールを決めて無料で使用できるようにする。</p> <p>2. コミュニティセンター内に中高生が自由に遊んだり、集中して勉強できる居場所を設ける。</p> <p>3. コミュニティセンター以外にも小学校の利用を検討してほしい。グラウンドや体育館、多目的室などを放課後や休日に小学生も含めて自由に使用できるようにしてほしい。</p> <p><u>○空き家の活用方法について</u></p> <p>4. 小中高生に空き家のことをどう思っているのかを聞き、美川での活動を白山市内でも広めていくための仕組みをつくる。</p> <p>5. 専門家や教授の人にお話を聞き、小中高生の考えを深めていく活動を行う。</p>	<p><u>○地産地消について</u></p> <p>1. SNSや学校でのパンフレット作成、CMなどを通して、地産地消を進めるために行われているイベントをたくさんの人に知らせること。そのために、私たちは身の回りの人と話して広めたり、ポスターを貼ったりして周知に協力すること。</p> <p>2. 現在開催されているイベントを他の季節や他の地域でも開催すること。そのために私たちは学校を利用してイベントを開催したり、地域のイベントに生徒がブースを出展したりすること。</p> <p><u>○観光に関連した広報について</u></p> <p>3. AIのアプリを作って観光客の好みに合わせたガイドを普及させること。そのために私たちはプログラミングを学び、開発に協力すること。</p> <p>4. イベント用のホームページやLINEアカウントを作ること。そのために私たちは様々なイベントに参加し、中高生目線での意見を発信します。</p>	<p><u>○ゴミ問題・環境について</u></p> <p>1. 自動販売機のとおりやスーパーの分別回収所のとりに、ペットボトルを洗う装置を設けること。</p> <p><u>○防災について</u></p> <p>2. 防災バッグを必要な人のニーズに合わせて、中身を変えたものを販売すること。</p> <p><u>○交通について</u></p> <p>3. 登下校の交通安全のために、見守り隊を配置したり、街灯の明るさの調整や点検をしたりすること。</p>	<p><u>○中高生の居場所について</u></p> <p>1. 白山市にユースセンターなどの中高生向けの施設がほしいこと。</p> <p>2. 親からの理解を得られるよう、居場所についての啓発を市の協力で広めてほしいこと。</p> <p><u>○中高生の施設の利用について</u></p> <p>3. 気軽に学習できる場所を設けること。</p> <p>4. スポーツ施設の予約をネットなどで気軽にできるようにすること。</p> <p>5. 児童館で中高生も利用しやすくすること。</p> <p>6. 放課後に上記の施設を利用できる時間の便を増やすこと。</p>